

令和4年度 清原東小学校 学校評価書

1 教育目標（目指す児童像含む）

（1）基本目標

日本国憲法及び教育基本法にのっとり「人間尊重の教育」を基盤とし、一人一人の児童を正しく理解し、個性を尊重し、よりよき人格の陶冶を図り、「主体的で知・徳・体の調和のとれたたくましく生きる児童」を育成する。

（2）具体目標（具体的な児童生徒像など）

- ・心豊かで思いやりのある子ども（やさしい子）
- ・進んで学びよく考える子ども（まなぶ子）
- ・健康でたくましい子ども（たくましい子）
- ・心をつくして働く子ども（はたらく子）

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

「学びの連続性を踏まえ、児童が社会において自立的に生きる基礎を培う活気に満ちた学校づくり」

児童が社会で自立的に生きるために必要とされる力を身に付けることができるような教育活動を展開し、一人一人が自己実現に向けて意欲的に挑戦できる魅力ある学校の創造に向けて、保護者や地域等の協働のもと全職員が一丸となって取り組む。

3 学校経営の方針（中期的視点） ※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針は文頭に○印を付ける。

（1）学習指導の充実

○基礎的・基本的な「知識・技能」の習得、「思考力・判断力・表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性」の涵養を目指し、確かな学力を育む学習指導の充実を図る。

- ・「主体的・対話的で深い学び」に向けた授業改善に取り組み、教員の指導力の向上を目指す。
- ・図書やICT等（AI型学習ドリルを含む）を計画的・効果的に活用した教育活動の充実を図る。

（2）児童指導の充実

- ・一人の人間として尊重し自己有用感を高める指導を行い、思いやりや規範意識、やりぬく心の育成に努める。
- ・道徳教育の充実及び児童の主体性を尊重した教育活動を展開し、自己指導力の向上を図る。
- ・人権教育を推進し、いじめ防止や不登校対策、特別支援教育や外国人児童の支援を充実させる。

（3）教職員の資質能力の向上

- ・教育公務員としての使命と職責を自覚し、相互に学び合い高め合える同僚性の構築と教職員の指導力の向上を目指す。（OJTや校内研修を活用して、授業力や学級経営力の向上を図る。）
- ・業務の効率化及び長時間勤務是正に全教職員で取り組み、学校における働き方改革を推進する。

（4）危機管理意識の高揚

- ・普段から全教職員の危機管理意識の高揚を図るとともに、危機的状況に対した場合、最悪の状況を想定して初期対応を迅速かつ慎重に進め、指揮系統を明確にした対応を図る。

（5）地域と連携した活動の充実

- ・家庭や地域、企業等との協働を推進することにより、様々な教育資源（ひと・もの・こと）を生かした地域とともにある学校づくりに努める。
- ・学校公開（授業参観、土曜授業、行事等）、各種便り、学校HP等による情報発信を推進し、保護者や地域との連携を図り、信頼関係の構築に努める。
- ・保護者や地域の声を学校経営に生かすとともに、家庭的な問題を抱えている児童や外国人児童への対応を関係諸機関と連携を図り、よりよい児童の育成に向けて取り組む。

「清原地域学校園教育ビジョン」

自己を見つめ、自己のよさを生かした夢の実現に向けて、主体的に取り組む児童生徒の育成 2nd stage
～ 人との豊かななかかわりを通して ～

4 教育課程編成の方針

- （1）教育関係法規や学習指導要領及び県・市の教育行政の方針等を踏まえる。
- （2）家庭や地域との連携・協力や「社会に開かれた教育課程」編成及びカリキュラム・マネジメントの充実に努める。
- （3）義務教育9年間の学びの連続性を重視し、創意に満ちた特色ある教育活動が展開できるよう工夫する。
- （4）読解力や問題発見・解決能力など学習の基盤となる能力や、持続可能な社会の創り手となるために必要な資質・能力を育む教育活動の展開を目指す。

5 今年度の重点目標（短期的視点）※「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○印を付ける。

【学校運営】
社会を自立的に生きることができる児童の育成を目指し、人との豊かなかかわりを生かした活動に取り組むとともに、学校業務の効率化を推進する。
【学習指導】
一人一人が基礎的・基本的な知識・技能を習得し、分かる喜びを味わいながら、主体的・対話的に学習に取り組むことのできる児童の育成
【児童生徒指導】
基本的生活習慣を身に付け、自他のよさを認め尊重するとともに、互いを高め合う児童の育成
【健康（体力・保健・食・安全）】
生涯にわたって心身ともに健康で安全な生活を送るために、進んで健康・体力づくりに励み、たくましく生きる児童の育成

6 自己評価（評価項目のAは市共通、Bは学校独自を示す。）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

※「主な具体的な取組」の方向性には、A拡充 B継続 C縮小・廃止、を自己評価時に記入する。

項目	評価項目	主な具体的な取組	方向性	評価
児童	A1 児童は、進んで学習に取り組んでいる。 【数値指標】 「児童は、授業中に進んで話し合うなど、積極的に学習している」 ⇒児童、教職員、保護者の肯定的回答90%以上	① 朝の学習や授業で、漢字や計算の練習や小テストを行うことにより、基礎学力の定着を図る。 ② 学年に応じた宿題の出し方を工夫するとともに、家庭での時間の使い方を啓発し、家庭学習の習慣化を図る。（特に漢字・計算）	B B	【達成状況】 ・肯定的回答 児童：○98.2% 教職員：○91.3% 保護者：○90.6% ・児童、教職員、保護者ともに目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① テストの予告などを適切に行い、児童の意識を高める ② 今年度の取組を継続する。
	A2 児童は、思いやりの心をもっている。 【数値指標】 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児童、教職員の肯定的回答90%以上	① 問題解決的な学習や役割演技などの体験型の学習を取り入れることで道徳の「親切、思いやり」の授業を充実させる。 ② 縦割り班遊びを行うことで、異学年交流を充実させ、思いやりの心を育む。 ③ 動植物の世話を通して、思いやりの心を育む。	B B B	【達成状況】 ・肯定的回答 児童：○94.4% 教職員：○95.7% ・児童、教職員ともに目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。人権や道徳の授業などを通して、児童同士が認め合ったり協力し合ったりできる場面を意図的に設定する。 ② 高学年としての自覚をもたせるために、縦割り班での清掃や遊びを継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。教科学習、当番活動、係活動、委員会活動などで意図的に設定していく。
	A3 児童は、きまりやマナーを守って、生活をしている。 【数値指標】 「児童は授業と生活の決まりやマナーを守って生活している」 ⇒児童、教職員の肯定的回答80%以上	① 「清原っ子みんなのやくそく」と「清東小スタンダード」をもとに週的生活目標などに掲げながら、基本的生活習慣を身に付けさせていく。 その中でも、「廊下は歩く」「時刻を守る」など、学校生活で中心となるきまりについて、教職員が足並みを揃えて指導していく。	B	【達成状況】 ・肯定的回答 児童：○94.7% 教職員：○91.3% ・児童、教職員ともに目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。学級内で発達段階に応じた指導を行う。生活当番制を活用しながら、きまりやマナーの指導を全教職員で行う。

の 姿	A 4 児童は、時と場に応じたあいさつをしている。 【数値指標】 「児童は、時と場に応じたあいさつをしている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 ⇒教職員の肯定的回答 85%以上 ⇒保護者、地域の肯定的回答 80%以上	① 地域と連携した朝のあいさつ運動を行う。 ② 集会委員による毎週月・水曜日のあいさつ運動、児童会による年数回のあいさついっぱい週間を行うなど、あいさつ運動に積極的に取り組む。 ③ 教職員が率先してあいさつをすることで、あいさつがしやすい雰囲気醸成する。	B B B	【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○98.2% 教職員：▲82.6% 保護者：○87.3% 地 域：○100% ・児童、保護者、地域は目標数値を達成することができたが、教職員は下回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組は継続しながら、「あいさついっぱい週間」も実施する。 ③ 率先垂範を心がけ、教職員が手本を示し、あいさつの活性化を図る。
	A 5 児童は、目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる。 【数値指標】 「児童（わたし）は夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 ⇒児童、保護者の肯定的回答 80%以上	① 自分の将来を意識して生活ができるように「わたしの夢」を掲示し、将来の自分への関心を高める。 ② 漢字計算オリンピックや教科体育の各種検定、チャレンジブックなど、児童が具体的な目標を決めて取り組める活動を設定する。 ③ キャリア・パスポートを活用して、家庭との連携を図り、学校だけでなく家庭でも児童の夢や目標について考えたり話し合ったりする機会を作る。	B B B	【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○94.0% 保護者：▲77.8% ・児童は目標数値を達成できたが、保護者は下回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ キャリア・パスポートを活用して家庭でも夢や目標について話し合う機会を作る。
	A 6 児童は、健康や安全に気を付けて生活している。 【数値指標】 「児童は、健康や安全に気を付けて生活している」 ⇒児童、教職員の肯定的回答 80%以上	① 朝食食べよう週間やキラキラウィークの設定、お弁当カードや元気アップカードを活用して生活習慣や自分の健康について興味関心を高める。 ② 各避難訓練や交通安全教室での体験を日常生活や普段の登下校に生かせるよう事前指導や事後指導を充実させる。	B B	【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○96.1% 教職員：○91.3% ・児童、教職員ともに目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。
	A 7 児童は、夢や目標をもって、社会に貢献できるよう努力している。 【数値指標】 「児童（わたし）は夢や目標に向かってあきらめずに、粘り強く取り組んでいる」 ⇒児童、保護者の肯定的回答 80%以上	① 総合的な学習の時間の「夢実現教室」や「人生の先輩に学ぶ」などで外部講師を活用し、自分の将来について具体的に考え、夢に向かって努力する素地を養う。 ② 委員会活動や縦割り班活動、学級の係活動や当番活動などを通して、友達やクラス、学校のために自分ができることを考え、実践できる場を設定する。 ③ ホームページや学校だより、キャリア・パスポートなどを活用して、本校のキャリア教育や社会貢献に関わる活動などを保護者に周知する。	B B B	【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○94.0% 保護者：▲77.8% ・児童は目標数値を達成できたが、保護者は下回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。
	A 8 児童は、英語を使ってコミュニケーションしている。 【数値指標】 「児童は、外国語活動（英語）の授業やALTとの交流の際に、英語を使ってコミュニケーションしている」 ⇒児童、教職員の肯定的回答 80%以上	① ALTを活用した、英語によるやりとりを中心とした授業を推進する。 ② 朝の会に「デイリーイングリッシュ」を位置づけ、毎日英語にふれさせる機会を設定する。 ③ 5・6年生は、ALTとの「スピーキングテスト」を年2回行い、話す力の定着度を見取り、指導する。	B B B	【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○96.1% 教職員：○100% ・児童、教職員ともに目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 引き続き学習者用デジタル教科書を活用し、児童の主体的な学習に活かす。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。
	A 9 児童は、宇都宮の良さを知っている。 【数値指標】 「児童は、宇都宮の良さを知っている」 ⇒児童、保護者の肯定的回答 80%以上	① 3・4年社会科・総合的な学習の時間において宇都宮市や清原地区の自然・産業・生き物などについて調べ学習を進めることで、郷土宇都宮のよさに気づき、親しむようにする。 ② 5・6年総合的な学習において、宇都宮市の自然、産業、歴史、文化等について学習することを通して、郷土に対する誇りや愛情を育むようにする。 ③ 校内放送で「宇都宮の歌」を流したり、児童が調べた資料を掲示したりして、郷土の歴史や伝統文化などに興味をもてるようにする。	B B B	【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○87.3% 保護者：▲53.7% ・昨年度同様6年生の「きぶな」作りや5年生のジャズ教室など、宇都宮の伝統や文化等に触れる機会を作ってきた。児童は目標数値を達成できたものの、保護者は目標数値を大きく下回った。 【次年度の方針】 児童と保護者の数値に大きな開きが見られる。今年度のように活動を継続しながら、文化活動や校外学習等の機会をとらえ、保護者にも周知を図る。

目 指 す 学 校 の 姿	A10 児童は、ICT機器や図書等を学習に活用している。 【数値指標】 「児童はICT機器（パソコン）や図書等を学習に活用している」 ⇒児童、教職員の肯定的回答90%以上	① 一人一台端末を積極的に学習で活用し、効果的な活用法を研究する。 ② ICT 機器や図書資料を有効活用しながら、「児童にとって分かりやすい授業」を目指して指導の工夫に取り組む。	B B	【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○96.8% 教職員：○95.7% ・児童、教職員ともに目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 発達段階や児童の実態に応じて ICT とアナログを併用しながら指導する。 ② 今年度の取組を継続する。
	A11 児童は、高齢者に対する感謝やいたわりの心をもっている。 【数値指標】 「児童は、誰に対しても、思いやりの心をもって優しく接している」 ⇒児童、教職員の肯定的回答90%以上	① 生活科の昔遊びなどのお年寄りとの交流を通して、高齢者への感謝やいたわりの気持ちを育む。 ② ボランティア感謝の会を通して、地域の高齢者への感謝の気持ちを表す。 ③ 道徳の「感謝」の授業を充実させる。	B B B	【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○94.4% 教職員：○95.7% ・児童、教職員ともに目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 道徳と関連させた体験活動を充実させる。
	A12 児童は、「持続可能な社会」について、関心をもっている。 【数値指標】 「児童は、持続可能な社会について、関心をもっている」 ⇒教職員の肯定的回答70%以上	① 読書活動の一環として、朝の読み聞かせや教室配置の図書に、環境やエネルギー、国際理解、防災等に係る書籍を意図的に選択し、私たちの日常生活と地球規模の課題がつながっていると感じさせる。 ② 年度当初に全教職員に共通理解を図るように働きかけ、意識を高めるようにするとともに、5年総合的な学習の時間において、「環境」「国際理解」について学習する際に、SDGsについて意識できるよう配慮する。	B B	【達成状況】 ・肯定的回答 教職員：○87.0% ・目標数値を達成することができた。 ・SDGs に関する取組等の成果により、昨年度の児童や教職員の数値から大きく向上し、目標数値を上回ることができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続するとともに学校版 SDGs の策定などの充実に取り組んでいく。また、委員会活動にも組み込むことで児童の活躍の場としていく。
	B1 地域や学校、友達のためになるよい行いをしている。〔全〕 【数値指標】 「私は、地域や学校、友達のためになる善い行いをしたことがある」 ⇒児童の肯定的回答80%以上	① 帰りの会などでよい行いを認め合い、奨励することにより、意識の高揚を図る。 ② 特に顕著な行いは、「宮っ子心の教育表彰」で表彰し、学校全体で善行を共有する。	B B	【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○94.0% ・目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。継続的な活動になるようにする。 ② 今年度の取組を継続する。
	B2 食後の歯磨きの大切さを知り、丁寧に磨いている。〔児・教・保〕 【数値指標】 「私は、食後でいねいに歯磨きをしている」 ⇒児童の肯定的回答90%以上 「児童は、食後の歯磨きの大切さを知り、丁寧に磨いている」 ⇒教職員、保護者の肯定的回答80%以上	① 給食後の歯磨きタイムを充実させ習慣化を図る。 ② 学級活動や保健学習の時間を活用し、養護教諭と連携しながら、歯の健康について発達段階に応じて丁寧に指導し、理解を深める。 ③ 元気アップカードや健康診断のお知らせ等を通して家庭と連携、協力する。 ④ 保健だよりで学校での歯磨き指導の様子を知らせ、歯磨きの意義について周知を図る。 ⑤ 休日の歯磨きの定着を図るために、長期休みに歯磨きカレンダーを配付し、毎日の歯みがき習慣を継続する。	B B B A B	【達成状況】 ・肯定的回答 児 童：○96.5% 教職員：○82.6% 保護者：▲70.8% ・児童、教職員は、目標数値を達成することができた。保護者は目標数値を下回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。 ④ 取組を拡充する。学校での歯磨き指導の様子を保健だよりで周知する。 ⑤ 来年度は重点的に取り組む。
	A13 教職員は、特別な支援を必要とする児童の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 「教職員は、特別な支援を必要としている児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答90%以上	① 特別な支援が必要な児童に対して、個別の支援計画を作成・活用し、学校全体で指導にあたる。 ② 職員会議の折に、児童の情報交換を行って共通理解を図り、適切な支援をする。	B B	【達成状況】 ・肯定的回答 教職員：○100% ・目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。職員会議だけでなく、必要に応じて職員打合せでも情報交換を行う。

A14 教職員は、いじめが許されない行為であることを指導している。 【数値指標】 「先生方は、いじめが許されないことを熱心に指導してくれている」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 「学校はいじめ対策に熱心に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上	① 学校いじめ防止基本方針に基づき、常に実態把握をしながらいじめの未然防止、即時対応に努める。 ② いじめの早期発見・早期解決のため、5月、9月、11月、2月に実態調査を実施し、学期に1回教育相談を行う。 ③ いじめゼロ強調月間の取組を充実させる。 ④ 道徳の時間にいじめに関する内容を扱った授業をするなど、人権感覚の醸成を図る。	B 【達成状況】 ・肯定的回答 児童：○98.6% 教職員：○100% 保護者：○85.4% ・児童、教職員、保護者ともに目標数値を達成することができた。 B 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。いじめ防止の取組について学級懇談等でも説明し、理解を図る。
A15 教職員は、不登校を生まない学級経営を行っている。 【数値指標】 「先生方は、一人一人を大切に、児童がともに認め励まし合うクラスをつくってくれている」 ⇒児童、教職員、保護者の肯定的回答 80%以上	① 教職員が児童のよさを取り上げ、他の児童に紹介するなどして、自己有用感の向上を図る。 ② グループ学習や係活動で、自分の考えを活かし、達成感を味わえるようにしたりすることで、帰属意識の高い学級づくりを目指し、不適応反応の予防に努める。 ③ 帰りの会で児童のよい行いを互いに発表し合う活動を取り入れる。 ④ 教職員同士の情報交換を密にして、児童の些細な変化を伝え合えるようにする。	B 【達成状況】 ・肯定的回答 児童：○98.6% 教職員：○100% 保護者：○91.8% ・児童、教職員、保護者ともに目標数値を達成することができた。 B 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。教職員がこれまで以上に児童の良さを取り上げられるように努める。 ② 本年度の取組を継続する。 ③ 本年度の取組を継続する。必要に応じて、関係機関との連携を図る。 ④ 本年度の取組を継続する。
A16 教職員は、外国人児童生徒等の実態に応じて、適切な支援をしている。 【数値指標】 「教職員は、特別な支援を必要としている児童や外国人児童等の実態に応じて、適切な支援をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 「日本語教室」において、「個別の指導計画」を作成し、児童の実態を把握して、学習支援を行う。 ② 「日本語指導講師」と連携し、外国人児童の日本語の力に応じた日本語指導を行ったり、保護者への通訳や翻訳を依頼したりするように努める。	B 【達成状況】 ・肯定的回答 教職員：○100% ・目標数値を達成することができた。 B 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続し、必要に応じて関係機関との連携を図る。 ② 在籍学級担任との連携を図り、今年度の取組を継続する。
A17 学校は、活気があり、明るくいいきとした雰囲気である。 【数値指標】 「私は今の学校が好きです」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 「学校全体に活気があり、明るくいいきとした雰囲気である」 ⇒教職員、保護者、地域の肯定的回答 90%以上	① 児童や地域の実態を踏まえて、前年度の評価結果と反省をもとに、教育課程を編成する。 ② 学校行事や児童会活動、学級活動等、児童が主体的・自立的に取り組む場を可能な限り設定する。	B 【達成状況】 ・肯定的回答 児童：○95.1% 教職員：○95.7% 保護者：○92.4% 地域：○100% ・教職員・地域・児童・保護者すべてで目標数値を上回ることができた。 B 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 感染症対策を適切に行った上で、学校行事や児童会活動、学級活動等の内容を充実させていく。
A18 教職員は、分かる授業や児童にきめ細かな指導を行い、学力向上を図っている。 【数値指標】 「先生方の授業は分かりやすく、一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒児童の肯定的回答 90%以上 「教職員は、児童一人一人が理解できるように教材を工夫するなど、きめ細かな指導をしている」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上 ⇒保護者の肯定的回答 85%以上	① 単元や本時のめあてを明確にし、ICT機器を積極的に活用するなど、学習意欲を高めるための授業や分かる授業を工夫する。 ② 整理された分かりやすい板書計画を立てる。 ③ 少人数指導、TTによる指導、日本語指導、かがやきルームの活用などの学習状況を適切に把握し、指導の工夫・改善をする。 ④ 校内授業研究に積極的に取り組み、一人一授業公開を行う。教員同士で授業を参観し合いながら、指導法の工夫・改善をする。	B 【達成状況】 ・肯定的回答 児童：○99.3% 教職員：○100% 保護者：○90.8% ・教職員・児童・保護者いずれの対象についても数値指標を達成することができた。 B 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 掲示物の活用について共通理解を図る。 ③ 年度初めの計画に基づいて計画的に実施する。 ④ 今年度の取組を継続する。

A19 学校に関わる職員全員がチームとなり、協力して業務に取り組んでいる。 【数値指標】 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 学校運営の方向性を明確にし、教員も専門スタッフも「チームとしての学校」の一員として目的を共有し、取組の方向性を揃えるようにする。 ② 日頃より良好な人間関係作りに努めるとともに、教職員一人一人の能力、得意分野を生かした組織作りに努め、やりがいをもって仕事ができる環境を整えていく。	B 【達成状況】 ・肯定的回答 教職員：○100% ・目標数値を達成することができた。 B 【次年度の方針】 ① SCやSSWなどとも連携し、今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。
A20 学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる。 【数値指標】 「学校は、教職員の勤務時間を意識して、業務の効率化に取り組んでいる」 ⇒教職員の肯定的回答 90%以上	① 教職員の毎月の時間外勤務状況を正しく把握し、必要に応じて個別の面談や医師による健康相談を実施できるようにする。 ② 業務の精選・見直し、事務処理の効率化など長時間労働の改善のため、校務分掌の見直しを行う。 ③ 学年、ブロック、あるいは個人で「今月のリフレッシュデー」を設定するとともに、勤務時間を意識した勤務に心がけるなど、長時間勤務の改善に努める。	B 【達成状況】 ・肯定的回答 教職員：▲73.9% ・目標数値を下回った。 B 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 業務のICT化等を推進し、更なる効率化を図る。 ③ 「リフレッシュデー」の徹底を図るとともに、勤務時間短縮の具体策にチャレンジしていく。
A21 学校は、「小中一貫教育・地域学校園」の取組を行っている。 【数値指標】 ⇒児童、教職員、保護者の肯定的回答 90%以上	① 小中が情報を交換し合い、義務教育9年間を通した系統的な指導と地域の教育資源を活用した特色ある教育活動を推進する。 ② 小中間の交流活動を活性化することで、6年生児童がスムーズに中学校生活をスタートできるようにする。	B 【達成状況】 ・肯定的回答 児童：○93.3% 教職員：○95.7% 保護者：▲77.1% B ・児童、教職員は、目標数値を達成することができた。保護者は目標数値を下回った。 ・あいさつ運動の再開等により児童の取組への興味関心が高まった。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。保護者に取組の内容を発信するように努める。 ② 乗り入れ授業等の機会を生かし、中1ギャップの解消を図る。
A22 学校は、地域の教育力を生かした特色ある教育活動を展開している。 【数値指標】 「学校は家庭・地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者・地域の肯定的回答 90%以上	① 読書ボランティア、外部講師や地域ボランティアと連携した活動を各学年とも学期に1回以上実施する。 ② 各学年の校外学習をはじめとして、地域と連携した教育活動の実施に向け、「魅力ある学校づくり地域協議会」を有効に活用し、学校運営の充実を図る。 ③ 保護者との連携を深めるために、個人懇談や学級懇談等を活用して児童理解を深め、信頼関係の構築を図るようにする。	A 【達成状況】 ・肯定的回答 保護者：○91.8% 地域：100% A ・保護者・地域ともに数値指標を達成することができた。 ・県教委の地域連携モデル事業の指定を受け、連携活動が推進できた。 B 【次年度の方針】 ① 学校支援ボランティア活動を来年度も継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。
A23 学校は、家庭・地域・企業等と連携・協力して、よりよい児童の育成に取り組んでいる。 【数値指標】 「学校は家庭・地域、企業等と連携・協力して、教育活動や学校運営の充実を図っている」 ⇒保護者・地域の肯定的回答 90%以上	① 各種通知や学校ホームページ、保護者会や個人懇談などの機会を利用して、学校の教育方針や教育活動について理解を図る。 ② 「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携を強化し、保護者や地域住民の意見を的確に学校運営に反映するとともに、地域の教育力を学校支援や環境整備などに有効に生かし学校教育の充実を図る。 ③ 「ふれあい発見ラリー」や「6年夢実現教室」において、地域の企業や様々なジャンルで働く方々を招き、仕事に関する話や実演などを通して、児童が自らの将来に関心をもてるようにする。	B 【達成状況】 ・肯定的回答 保護者：○91.8% 地域：○100% A ・保護者・地域ともに数値指標を達成することができた。 ・県教委の地域連携モデル事業の指定を受け、連携活動が推進できた。 B 【次年度の方針】 ① 引き続き教育活動の様子を発信し、保護者や地域とともに児童を育てていく。 ② 今年度同様、地域からのご意見を参考にしながら、学校経営に活かしていく。 ③ 引き続きキャリア教育を継続する。新たな協力先を模索するなど、活動を充実させていく。

本校の特色・課題等	A24 学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている。 【数値指標】 「学校は、利用する人の安全に配慮した環境づくりに努めている」 ⇒保護者、地域の肯定的回答80%以上	① 毎月一回安全点検を実施し、学校環境における潜在的危険を点検観察し、児童が常に安全な環境で学習活動が行えるように努める。 ② 特に児童が多く活動を行うと思われる箇所の設備等においては日常的に点検を行い、必要に応じて修繕等を迅速に行うよう努める。	B B	【達成状況】 ・肯定的回答 保護者：○89.0% 地域：○100% ・保護者・地域ともに数値指標を達成することができた。 ・体育館エアコン設置や、校舎トイレ洋式化等、健康・安全な環境が整った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。迅速な修理・修繕に努め、安全な環境の維持に努める。
	A25 学校は、学習に必要なICT機器や図書等を整えている。 【数値指標】 「児童はICT機器（パソコン）や図書等を学習に活用している」 ⇒児童、教職員の肯定的回答90%以上	① 一人一台端末活用研修やプログラミング教育の研修を行い、授業での積極的な活用を図る。 ② 学校図書館活用のための年間指導計画をもとに巡回図書を活用したり、教科に関連するコーナーを図書館に整備したりする。 ③ ICT機器が使いやすい環境整備に努める。また、ICT支援員を有効に活用して児童が基礎的なスキルを身に付けられるようにし、日常的に一人一台端末を使用できるようにする。	B B	【達成状況】 ・肯定的回答 児童：○96.8% 教職員：○95.7% ・児童、教職員ともに目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。ICT支援員と連携を図り、学年に応じた基礎的なスキルを身に付けられるようにする。
	B3 互いに協力して学習することにより、考えを深め合っている。 【児・教】 【数値指標】 「私は、話し合い活動をすることにより、友達の考えや思いがよく分かる」 ⇒児童の肯定的回答90%以上 「児童は、互いに協力して学習することにより、考えを深め合っている」 ⇒教職員の肯定的回答90%以上	① 学習活動の中で自分の考えを書いたり伝えたりする時間を意図的に設定し、自分の考えを深めたり、友達の考えのよさに気付いたりできるようにする。 ② 各教科の授業で、言語活動（人前で話したり意見や考えを表現したりする活動）の充実を図る。 ③ ペア・グループ学習などの学習形態を工夫し、学び合いのよさを意識させる活動を取り入れる。	B B	【達成状況】 ・肯定的回答 児童：○95.8% 教職員：○95.7% ・児童、教職員ともに目標数値を達成することができた。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。 ② 今年度の取組を継続する。 ③ 今年度の取組を継続する。指導者が教材や教具を活用して継続して指導する。
	B4 様々な自然や人々とふれあい、体験する機会を作り、豊かな感性や人とのかかわる力を育てている。【全】 【数値指標】 「児童は、他の学年の人や地域の人たちと一緒に活動するとき、進んで活動している。」 ⇒児童、教職員、保護者、地域の肯定的回答90%以上	① 地域探検や夢実現教室、ふれあい発見ラリーなどの活動を通して、地域の自然や文化財等を活用するとともに、様々な人々とふれあう機会を設定する。 ② ホームページや学校だよりなどを活用して、地域教材を利用した学習や行事について保護者へ周知し、学校の取組について理解が深まるよう努める。 ③ 自然や人々とふれあい、体験する機会を作るために、PTAや保護者、地域の団体などに学習や行事の協力をお願いする。	B B	【達成状況】 ・肯定的回答 児童：○94.4% 教職員：○95.7% 保護者：▲85.3% 地域：○100% ・児童・教職員・地域ともに目標数値を達成することができた。保護者は目標数値を下回った。 【次年度の方針】 ① 今年度の取組を継続する。児童会での活動も取り入れ、児童が主体的に活動する場面を設定する。 ② 今年度の取組を継続する。児童の活動の様子を保護者や地域に向けてホームページで発信する機会を増やす。 ③ 今年度の取組を継続する。オンライン工場見学など、人々とふれあう新しい活動を検討していく。また、地域の自然や人的環境を学習に活用する機会を検討する。（1年昔遊び、3年オオムラサキ等）

〔総合的な評価〕

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

本校では、学校目標「主体的で知・徳・体の調和のとれたたくましく生きる児童の育成」を掲げ、「学びの連続性を確保し、児童が社会において自立的に生きる基礎を培う活気に満ちた学校づくり」を学校経営の理念として、保護者や地域等の協働のもと、全校職員が一丸となって取り組んでいる。

今年度は感染対策を継続しながらも、可能な限り体験的活動や交流活動を再開することに取り組んだ。それにより、保護者や地域の方々、企業や学校等との交流を通して、多くの児童に笑顔が見られた。学校マネジメントアンケートの児童回答結果では、18項目全てにおいて目標数値を達成した。また、肯定的回答は20項目中19項目で90%を超え、全ての項目で市平均を上回った。特に「積極的に学習に取り組む態度(A1)」は98.2%（市平均よりも4.5ポイント高）、「ICT機器や図

書等の学習への活用(A10.25)」は96.8%（市平均よりも6.1ポイント高）、「英語を使ったコミュニケーション」は96.1%（市平均よりも6.1ポイント高）など、高い数値がいくつも見られた。制限のあった2年間から比べると、学校生活への満足感が高まったと考えられる。また、小中一貫・地域学校園の取組では、清原中の生徒と一緒に「地域学校園あいさつ運動」が復活し、気持ちよいあいさつが響く日常が帰ってきた。学校マネジメントアンケートの児童肯定的回答は93.3%で、昨年度より9.2ポイント上昇した。

保護者からは多くの協力をいただいた。創立130周年記念行事、学校支援ボランティア活動、奉仕活動（トイレ清掃）では、保護者側から積極的に動いていただいた。学校マネジメントアンケートの保護者回答結果では、昨年度と比較すると多くの項目で上がったが、同程度であり、本校教育活動への保護者の理解は進んできていると思われる。一方、目標数値が達成できなかった項目として、「宇都宮の良さ(A9)」が53.7%、「小中一貫・地域学校園の取組(A21)」が77.1%などであった。今後はこれらの学習をさらに充実させ、各種たよりや学校ホームページなどで積極的に発信していきたい。

教職員の目標数値達成項目は19項目中17項目であった。学校経営や教育活動には一定の評価を示したが、「業務の効率化(A20)」は73.9%と、課題を残した。教職員の健康保持や、児童と関わる時間の確保のため、具体策を推進していく。

本校の特色ある教育活動（全校ふれあい発見ラリー、6年夢実現教室など）については、児童の満足度は非常に高い。学校マネジメントアンケートの児童回答結果では、「連携・協力した教育活動(A22・23)」は93.3%（市平均よりも5.4ポイント高）であり、地域の教育力を生かした教育活動の成果であると考えられる。今後も、保護者・地域・企業等と連携しながら、キャリア教育を核とした本校教育のさらなる充実を図り、児童が、地域や宇都宮市のよさ、持続可能な社会に向けた取組などについて学び、自分の将来や生き方について考えることができるよう取り組んでいきたい。

7 学校関係者評価

【全体】

- ・児童の肯定的回答割合が全ての項目で市平均を上回ったことは素晴らしい。
- ・児童の姿を見ると、自己評価と合っていると感じる。

【児童と保護者との差】

- ・学校の様子について、子どもが家に帰ってから親に話ができるとよい。
- ・学校行事を参観できる機会が増えると、保護者の肯定的回答割合も変わるのではないかと。
- ・保護者評価の低いものは、もっとPRするとよい。保護者への対応・理解を求めることが必要である。

【ボランティア】

- ・ボランティア内容を詳しく説明すれば、ボランティアの人数が増えるのではないかと。
- ・「昔遊び」に関わった高齢者は「元気をもらった」とのことなので、今後も継続してほしい。
- ・読み聞かせボランティアについて、今後も定期的に募集をしていただけるとありがたい。

【課題への対応】

- ・「時と場に応じたあいさつ」については、その都度子どもたちに指導をしていけば、よくできるようになると思う。
- ・学校行事等に地域協議会委員の参加を検討してはどうか。
- ・ノーゲームの日を設定したらどうか。
- ・目標数値が達成できなかった「宇都宮の良さ」「小中一貫・地域学校園」の取り組み方を考えてほしい。
- ・教職員の働き方改革が必要である。
- ・児童のランドセル重量が重いとのことなので、対応が必要である。
- ・コロナ禍のため実施できなかった通学路の確認を、そろそろ再開してもよい。

8 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

※「小中一貫教育・地域学校園」に関する方針・重点目標・取組にかかわる内容は、文頭に○印または該当箇所に下線を付ける。

- ・次年度も本校の特色である「キャリア教育」を核とし、保護者・地域・企業等と連携しながら学校教育目標の具現化に向け今年度と同様の方針及び重点目標で学校運営を行う。
 - ・学習指導では、「ICTを活用して、児童が主体的に学習に取り組む授業の工夫」や「協働的な学び合いの充実」に継続して取り組んでおり、次年度も、各教科において重点的に推進する。
 - ・保護者や地域への情報発信や啓発について、取組に対する認識が不十分な項目が見られたため、有効な方法や内容、時期等を検討し、周知を図る。また、児童の安全や健康に十分留意し、教育活動の充実及び取組の工夫改善に努める。
 - ・教職員が健康で生き生きとやりがいをもって勤務し、質の高い教育を行うために、事務作業の縮減等の負担軽減策を検討し、保護者や地域の協力を得ながら実践する。
- 小中一貫教育・地域学校園に関する取組については、児童に対して、活動内容だけではなく目的や意義等についても十分に説明するとともに、保護者や地域に対して、効果的に情報発信する。

